

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	鏡の間：めくらといざり
Author(s)	児童の言語生態研究会,
Citation	児童の言語生態研究 , 1 : 52 - 53
Issue Date	1968-05-05
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045027
Right	
Relation	



があると思うのは筆者一人ではあるまい。「業物」などを、「よく技術の施された刀」などと言つてもよからうけれども、心象の迫まり方の異なりを認めないわけにはいかない。

ことばの神秘性の復活を語りたいのではない。

しかし言語生活の合理化が、人間生活に見識と目標を生みつけるとは思われない。ことわざは忘れられ、いろはかるたの何枚が頭に思い浮かべられるであろう。学校国語の中に、ことわざ・いろは

がるたを採用し、暗誦させろと言つているのではないか。

だが、これらが、言語教育の重要な役割を担つていたことはまちがいない。あるいは往来物

が寺子屋教科書の名を得て行くのは何を意味する

のか。往来物の推移は、その権威が語る通り多岐

多様の道を辿っている。書状・文案いずれにせよ、

これがより実益的な現実生活への適応を目的とす

ると見るのは近視眼的に過ぎる。それは手紙を書くという言語活動の一方面の用に供するためとい

うより前に、それに吸引される心象の階梯を見いだしていかなければ、その場その時の特殊な事

がらで満たされたものが、教科書的位置を得て行

く道筋が見つからない。言い換れば、とりとめ

のない日常生活の用件を記されたものの中に、見識と目標のための一目標として発見される言葉遣いに誘われるものがあつたであろうということである。

伝統は日常性の中に在るはずである。日常と伝統とは対立しないし分離もしない。日常性を把えさせるものは、伝統に何らかの答を得たそれが果

鏡の間



◆ねらい◆

三才前後になると、口がとても達者になつて、日常会話では事欠かないほどだとお思いのことと存じます。ところが、おそらく、今日の学習をなさつてみると、また新しい問題をお感じになるだろうと思ひます。申しますのも、ふだん日常会話では、その場

の雰囲気から、ことばの一つ一つの意味はよくわかっています。ですから、この遊びをやつた後、一つ一つの単語の意味を教えるのが目的ではありません。ただ、いわゆる抽象語と呼ばれることばについて学習する機会を作つてやることが必要であると思うのです。こどもは、抽象語にぶつかると、わからなくてたずねたり、勝手に想像したり悩んだり、とんちんかんな理解をしてやります。ですから、一語一語に何か特定の意味を明瞭に特たせなければならぬとか、また持たされたものとして聞かねばならないことになると、まだだこの年令では苦しいのです。これを、われわれは、「ことばから概念へ」の段階として注意しています。

しかし、日常会話でもことばの一語一語の意味概念が明りというわけです。めくらは

めくらと いざり

このコーナーは、読者の投稿も歓迎しながら、毎号、子どもたちの言語生態のなるだけ露呈しやすい、そしてなおかつ、子どもたちが興味をそそらせる百利あつて一害のない実験を掲載して行きたく思います。担当の子どもたちや、お家の老子様にも御利用下さい。

これは二人で行ないます。一人がめくら、今一人がいざりといいます。めくらは

か見立てます。ですから気の利いた子なぞは、河原にお立つて、ポンと川を一またぎするような場面もありまし

目は見えないが、歩くことはできる。いざりは歩くことはできないが目は見える。この二人のちがつた不具者が協力して物をするためには、完全な言語伝達授受ができなくてはなりません。そこでめくらがいざりを背負い、いざりの指示によって、めくらは進行、その他の行動を決めます。床にビニール・テープなどを張りつけて道をつくります。またボール箱、踏み台などで、障害物にしたり、それをして山に見立てたり、すべり台を外して、橋に見立てたりもできます。橋ができますと、その下は当然川ですから、指示するいざりが上手に物を言外して、川の中を歩いてしまふことを考えさせたいものであります。

たすのである。言葉は使われると言いつつ言葉の跳梁に、軽うじて抵抗するかのごとき言語生活の合理化に調子を合わせた子ども不在の授業をするよりも、一見、形式主義的に思われる言葉遣いを気付かうこの方が、少なくともその子どもを育てている本来的態度にちがいないと思うのである。

(玉川大学助教授)

◆編集後記◆

☆正直言つて苦しかった。いつの間にやら、部屋にあった石油ストーブも見えなくなっている。机代わりにしている炬燵檻が、毎年の例だとこどもの冬までどこかへしまわれまだこれを使っている。もちろん、もう火ははいつていなない。夏炉冬扇も編集者によつては無用どころか重用される。そんなこと思えるようになつたのも、この仕事が一段落した証拠にちがいない。一日とくつかりきみが二十四時間区切りであることがうらめしいと思つたことさえあつた。☆編集者だけではなく、執筆者も現場の期末激務の中を何度も何度も原稿を推敲して下さつた。でも、現場とこんど仕事とは別の次元で考へることはしなかつた。また、互いにそれを自戒し確認し合いな

○遊びをせむとや生れけむ、戯れせむとや生れけむ。遊ぶ子どもの声聞けば、我が身さへこそ搖るが。子を思う集まりであると言いたい。そして、我が身を搖がす子どもの声を、丹念に、また仔細に検討したかったのである。

(T)

がら進んだつもりであった。

国語教師の腕前を誇る雑誌な

ら他に譲ればいい。われわれ

いう現場は子どもの場所で

ある。子どもが発見された場

所における調査であり研究で

ありたかった。もし、この小冊子が世に注目されることがあるとするならば、そのことに由来するものであつてほし

い。

☆われわれ同人は、特異な学

問に専念し、特別な研鑽や修

練を積んだわけではない。た

だ、梁塵秘抄のそれではな

い。

二人一組になつて一人はめ

くら、一人はいざりになりま

す。めくらは約束によつて目

をつぶればよいのですが、目

をかくしのため手拭いを準備し

て下さい。子どもは、扮装好き

なのですから。三才前後の幼

児同志が、めくらといざりに

なるのは無理と思われます。

めくらになるのは、調査者も

しくは、父兄・先生・小学校

以上の兄弟姉妹が適當でしょ

う。

（調査項目例）

下記の適當なものに○印を

付けて下さい。

1、約束や見立ての理解につい

て（特に遊び始めについて）

（1）すぐわかった（2）わかり

よかつた（3）いえない

（4）わからなかつた

（5）わからない

（6）わからなかつた

（7）わからなかつた

（8）わからなかつた

（9）わからなかつた

（10）わからなかつた

（11）わからなかつた

（12）わからなかつた

（13）わからなかつた

（14）わからなかつた

（15）わからなかつた

（16）わからなかつた

（17）わからなかつた

（18）わからなかつた

（19）わからなかつた

（20）わからなかつた

（21）わからなかつた

（22）わからなかつた

（23）わからなかつた

（24）わからなかつた

（25）わからなかつた

（26）わからなかつた

（27）わからなかつた

（28）わからなかつた

（29）わからなかつた

（30）わからなかつた

（31）わからなかつた

（32）わからなかつた

（33）わからなかつた

（34）わからなかつた

（35）わからなかつた

（36）わからなかつた

（37）わからなかつた

（38）わからなかつた

（39）わからなかつた

（40）わからなかつた

（41）わからなかつた

（42）わからなかつた

（43）わからなかつた

（44）わからなかつた

（45）わからなかつた

（46）わからなかつた

（47）わからなかつた

（48）わからなかつた

（49）わからなかつた

（50）わからなかつた

（51）わからなかつた

（52）わからなかつた

（53）わからなかつた

（54）わからなかつた

（55）わからなかつた

（56）わからなかつた

（57）わからなかつた

（58）わからなかつた

（59）わからなかつた

（60）わからなかつた

（61）わからなかつた

（62）わからなかつた

（63）わからなかつた

（64）わからなかつた

（65）わからなかつた

（66）わからなかつた

（67）わからなかつた

（68）わからなかつた

（69）わからなかつた

（70）わからなかつた

（71）わからなかつた

（72）わからなかつた

（73）わからなかつた

（74）わからなかつた

（75）わからなかつた

（76）わからなかつた

（77）わからなかつた

（78）わからなかつた

（79）わからなかつた

（80）わからなかつた

（81）わからなかつた

（82）わからなかつた

（83）わからなかつた

（84）わからなかつた

（85）わからなかつた

（86）わからなかつた

（87）わからなかつた

（88）わからなかつた

（89）わからなかつた

（90）わからなかつた

（91）わからなかつた

（92）わからなかつた

（93）わからなかつた

（94）わからなかつた

（95）わからなかつた

（96）わからなかつた

（97）わからなかつた

（98）わからなかつた

（99）わからなかつた

（100）わからなかつた

（101）わからなかつた

（102）わからなかつた

（103）わからなかつた

（104）わからなかつた

（105）わからなかつた

（106）わからなかつた

（107）わからなかつた

（108）わからなかつた

（109）わからなかつた

（110）わからなかつた

（111）わからなかつた

（112）わからなかつた

（113）わからなかつた

（114）わからなかつた

（115）わからなかつた

（116）わからなかつた

（117）わからなかつた

（118）わからなかつた

（119）わからなかつた

（120）わからなかつた

（121）わからなかつた

（122）わからなかつた

（123）わからなかつた

（124）わからなかつた

（125）わからなかつた

（126）わからなかつた

（127）わからなかつた

（128）わからなかつた

（129）わからなかつた

（130）わからなかつた

（131）わからなかつた

（132）わからなかつた

（133）わからなかつた

（134）わからなかつた

（135）わからなかつた

（136）わからなかつた

（137）わからなかつた

（138）わからなかつた

（139）わからなかつた

（140）わからなかつた

（141）わからなかつた

（142）わからなかつた

（143）わからなかつた

（144）わからなかつた

（145）わからなかつた

（146）わからなかつた

（147）わからなかつた

（148）わからなかつた

（149）わからなかつた

（150）わからなかつた

（151）わからなかつた

（152）わからなかつた

（153）わからなかつた

（154）わからなかつた

（155）わからなかつた

（156）わからなかつた

（157）わからなかつた

（158）わからなかつた

（159）わからなかつた

（160）わからなかつた

（161）わからなかつた

（162）わからなかつた

（163）わからなかつた

（164）わからなかつた

（165）わからなかつた

（166）わからなかつた

（167）わからなかつた

（168）わからなかつた

（169）わからなかつた

（170）わからなかつた

（171）わからなかつた

（172）わからなかつた

（173）わからなかつた

（174）わからなかつた

（175）わからなかつた

（176）わからなかつた

（177）わからなかつた

（178）わからなかつた

（179）わからなかつた

（180）わからなかつた

（181）わからなかつた

（182）わからなかつた

（183）わからなかつた

（184）わからなかつた

（185）わからなかつた

（186）わからなかつた

（187）わからなかつた

（188）わからなかつた

（189）わからなかつた

（190）わからなかつた

（191）わからなかつた

（192）わからなかつた

（193）わからなかつた

（194）わからなかつた

（195）わからなかつた

（196）わからなかつた

（197）わからなかつた

（198）わからなかつた

（199）わからなかつた

（200）わからなかつた

（201）わからなかつた

（202）わからなかつた

（203）わからなかつた

（204）わからなかつた

（205）わからなかつた

（206）わからなかつた

（207）わからなかつた

（208）わからなかつた

（209）わからなかつた

（210）わからなかつた

（211）わからなかつた

（212）わからなかつた

（213）わからなかつた

（214）わからなかつた

（215）わからなかつた

（216）わからなかつた

（217）わからなかつた

（218）わからなかつた

（219）わからなかつた

（220）わからなかつた

（221）わからなかつた

（222）わからなかつた

（223）わからなかつた

（224）わからなかつた

（225）わからなかつた

（226）わからなかつた

（227）わからなかつた

（228）わからなかつた

（229）わからなかつた

（230）わからなかつた

（231）わからなかつた

（232）わからなかつた

（233）わからなかつた

（234）わからなかつた

（235）わからなかつた

（236）わからなかつた

（237）わからなかつた